

福井市鮎川海岸（中新世国見累層） 産の硬骨魚類の脊椎骨化石

安野 敏勝*

A Fossil Vertebral Column of the Bony Fish from the Miocene Kunimi Formation
at the Ayukawa Coast in Fukui City, Fukui Prefecture, Japan

Toshikatsu YASUNO*

はじめに

このほど、福井市鮎川町の海岸に分布する第三紀層から、硬骨魚類の脊椎骨が産出したので報告する。第三紀層からの魚類の脊椎骨化石はそれほど稀なことではない。しかし、本产地からは初めてであり、標本がかなり大きいことから、とりあえず化石資料としてその概略を記載する。なお、魚類化石としては、本产地からはサメの歯が産出したという記録があり、周辺の地層から魚鱗が2点報告されている（安野、1989）。

产地・層準

脊椎骨化石は、福井市鮎川町の海岸の波食台上に散在する転石から産出した（図1）。転石は、炭化した植物の破片を含む淡緑色を呈する凝灰質砂岩からなり、*Felaniella ferruginata*を随伴する。その岩質から、本転石が直下の波食台を構成する地層（凝灰質砂岩）に由来することは明らかである。本層は、国見累層の大丹生凝灰質互層（塚野・三浦、1954），または、中部層ⅡのK10凝灰岩層（東、1985）の直上位にあたる。

本砂岩層からは、*Anadara Kakehataensis*, *A. kurosedaniensis*, *Felaniella* sp., *Crassostrea garvitesta*, *Cyclina japonica*, *Phaxas izumensis*, *Vicarya verneuili*, *Vicaryella cf. notoensis*ほかの貝化石が多産し、この化石群集は、“八尾一門の沢フォーナ”に対比されている（紹野、1956）。最近になり、この付近の三木本町から、閉殻の二枚貝*Geloina stachi*なども産出し、その当時、付近にマングローブ沼の環境が存在したこ

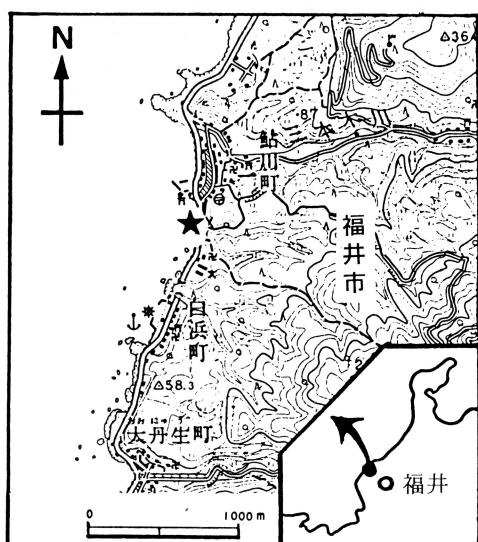


図1 化石产地

* 910 福井市福新町2505 福井県教育研究所

とが想定される。しかし、現在のところ、この直接の証拠は得られていない。今回の脊椎骨化石はこのような内湾性の貝化石群集に混入している。

化 石

硬骨魚類 Class Osteichthyes

真骨類 Superorder Telostei

科・属不明 Fam. et Gen. indet.

(図版1, Figs. 1-6.)

化石は1個の脊椎骨が単独に産出した。骨は多孔質で、風化の程度が著しく、硬化剤で強化して母岩より剖出した。化石は、不完全な椎体で、神経棘や血管棘などの突起や骨組織のほとんどを欠いている。椎体の前後の凹部が堆積物で充填されており、本標本が、すでに単独の脊椎骨となった状態で埋積されたことを示している。椎体の前後の長さは約16mm、その最大内径は約12mmである。

本標本とアジ科の1種(マアジ *Trachurus japonicus*, 体長23cm)の第18番目の脊椎骨(図版1, Figs. 7)と比較した結果、椎体中央部の骨の幅、前(神経)関節突起の一部と思われる印象及び棘の基部と思われる痕跡的な骨の膨厚などの特徴から、本標本の前後及び背腹の関係を推定した(図版1, Figs. 3-6)。化石は、骨組織の大半を欠いているため、本来の脊椎骨より細長く見える。本標本を有した化石魚類は、ニシン類やアジ類に比較してかなり大きく、体長が1mに達するかなり遊泳力をそなえた大形の魚類であると推定される。

おわりに

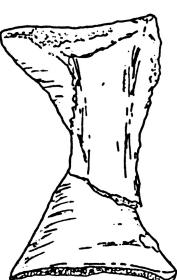
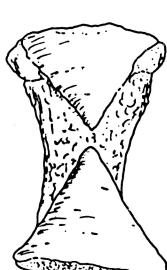
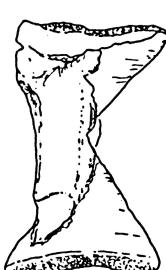
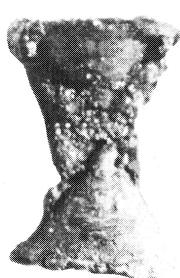
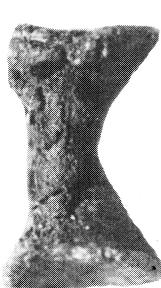
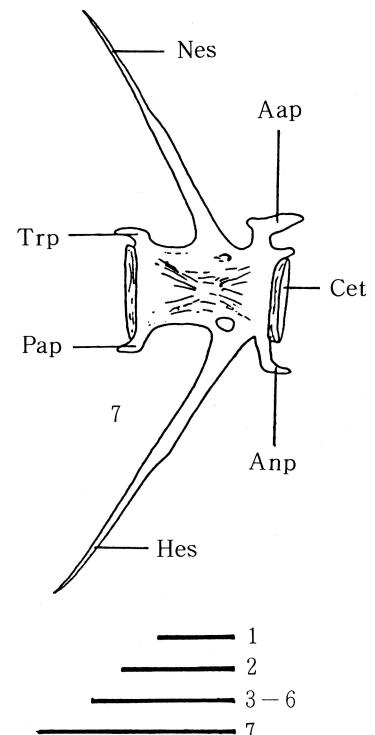
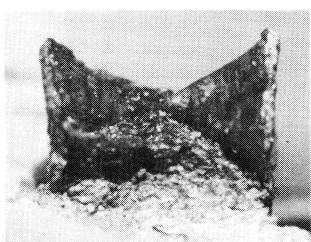
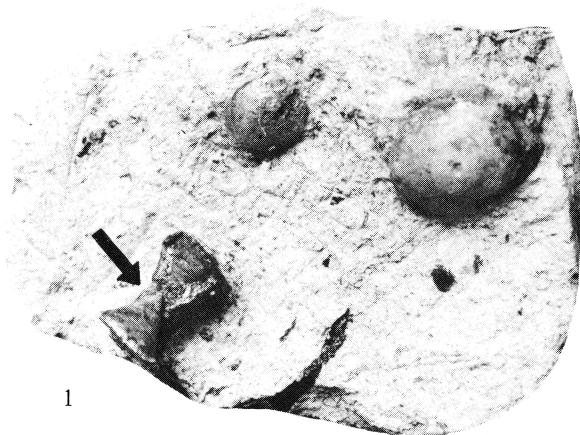
福井市鮎川海岸の第三紀層から産出した硬骨魚類の脊椎骨化石について報告した。化石は、"八尾一門の沢フォーナ"に対比される内湾浅海性の貝化石群集に混じって、本産地から初めて得られたものである。化石は、かなり大形で遊泳力をそなえた魚類の1種と推定され、当時の沖合いの海域から進入した魚類であることも考えられよう。

参考文献

- 東 洋一, 1985: 福井県丹生山地北西部の中新統層序—特に新たに見い出された中期中新統の不整合について—, 福井県立博物館紀要, 第1号, 1-17.
- 柏野義夫, 1956: 福井県産化石図譜—第1集—. 福井市理科研究会・福井市立郷土自然科学博物館.
- 塚野善蔵・三浦 静, 1954: 福井県丹生山地の新第三系について(第1報). 福井大学芸紀要Ⅱ(自然), 4, 第1集, 1-10.
- 安野敏勝, 1989: 福井県産魚類化石目録. 福井県高等学校理科研究会誌, 第31号, 34-45.

福井市鮎川海岸（中新世国見累層）産の硬骨魚類の脊椎骨化石

図版 1



図版説明 (スケール: 1 cm)

Fig. 1. 化石の産状(腹面観). 上方の2個の貝化石は, *Felaniella ferruginata* Oyama である.

Figs. 2-6 硬骨魚類の脊椎骨化石

2: 母岩から剖出する前の骨化石. Fig. 1 の矢印の方向から見たもの. 左側面観.

3: 左側面観

4: 腹面観

5: 背面観

6: 右側面観

それぞれ化石標本(a)とスケッチ(b)を示す。

Fig. 7. マアジ *Trachurus japonicus* (Temminck et Schlegel) の第18番目の脊椎骨. 右側面観

Aap, 前神経関節突起

Anp, 前血管関節突起

Cet, 椎体

Hes, 血管棘

Nes, 神経棘

Pap, 後血管関節突起

Trp, 横突起(後神経関節突起)